



● 11月6日 いちょう祭り

棕野小学校校歌に歌われているシンボルのイチヨウの木は、明治39年3月、当時の藤井校長が苗木を準備し、卒業生の皆さんが卒業記念として植樹されたもので、長年にわたって児童を見守り続けてきました。



「棕野小学校
閉校にあたって」

校長 茶木克昌

♪ かおる歴史にかがやいて

すくすくのびるいちちょうの木

元棕野小学校長 中原秀吉 先生が作詞をされた校歌の一節です。明治39年3月、当時の藤井千代松校長先生が苗木を準備され、卒業生の皆様が卒業記念として植樹されたいちちょうの木は、以来、児童の心の支えとなり、棕野小学校のシンボルとなりました。

棕野小学校の児童は、まさにいちちょうの木のように大地にしっかりと根を張り、空に向かってまっすぐに健やかに成長していきます。

輝かしい歴史と伝統を誇る棕野小学校は閉校いたしますが、いちちょうの木の教えは、これからも長く児童の心に生きつづけるものと確信をいたしております。

これまで多くの皆様より、棕野小学校にお寄せいただいた数々のご厚情に深く敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

「ありがとう、さようなら」

棕野小 5年 川田竜暉くん

1年の時、棕野小に転校してきました。大きないちちょうの木が立っていて花いっぱい学校の学校でした。

毎年11月に、いちちょうの木にちなんだ棕野小ならではの行事、いちよう祭りがあります。学習発表会をしたり、昔の遊びやぎんなん釣りゲームで地域の方と楽しくふれあったりしました。行事をとおして、何をすることも協力が必要だと学びました。祭りではいもがゆのおいしかったことを今でも忘れられません。

最後に大きな声で「ありがとう、さようなら。」と言いたいです。地域でお世話になった方に。5年間学んだ校舎に。思い出をいっぱい詰めこんでくれた棕野小に。棕野小で学んだことを生かして、次の学校でも持っている力を発揮したいです。



「私を育ててくれた棕野小」

棕野ふれあい見守り隊

竹本厚三さん

昭和29年3月(卒業)



平成18年から、児童の登下校の安全を見守る、見守り隊ボランティアに参加しました。

私は棕野小の卒業生です。私の時には1クラス40名ぐらい在籍していました。6年生の時に修学旅行で広島・宮島に行ったことが今でもいい思い出です。大人になって建設関係の会社に就職し、会社の仲間と楽しく、明るく、皆で協力し

合って一つひとつの仕事を成し遂げていくといった、人間的な基礎をつくってくれたのが母校棕野小でした。

時代の流れで子どもが少なくなり、棕野小が閉校になるのは非常に寂しい気持ちです。棕野小ありがとう。



棕野小学校 沿革

- 明治 6年 林 霊俊宅に創立 大島第二小学区第二小学校と称す
- 明治 25年 小学校令改正により棕野尋常小学校となる
- 昭和 31年 久賀町立棕野小学校となる
- 昭和 35年 学校給食実施
- 昭和 49年 校旗制定 創立100周年記念式典
- 昭和 54年 屋内運動場(屋内体育館)落成
- 平成 3年 緑の少年隊を結成
- 平成 5年 新校舎落成(鉄筋コンクリート3階建て)
- 平成 16年 大島郡4町合併のため周防大島町立棕野小学校となる
- 平成 18年 棕野ふれあい見守り隊発足
- 平成 23年 久賀小学校と統合のため棕野小学校閉校



<3月19日 閉校式 校旗納め>
茶木校長から椎木町長へ校旗が手渡されました。